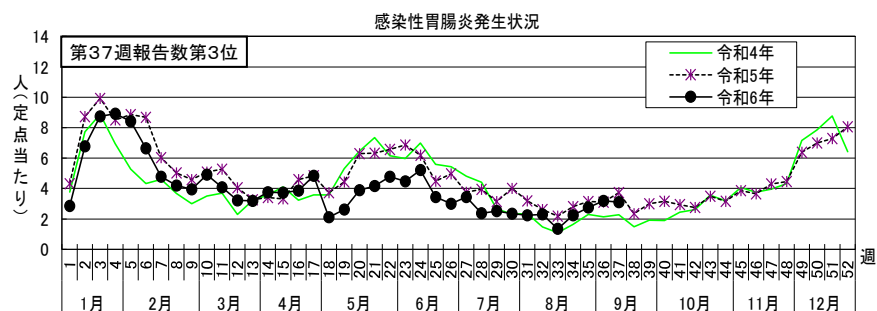
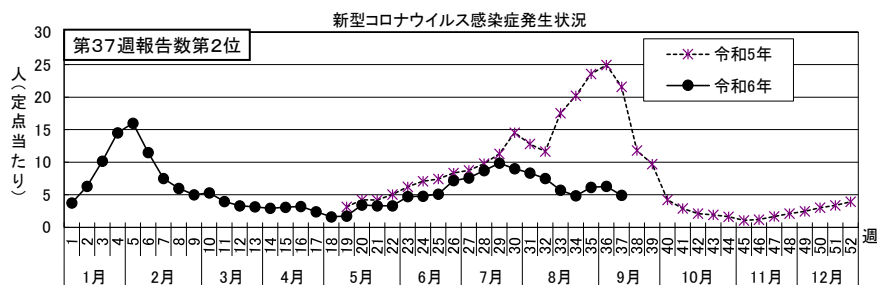
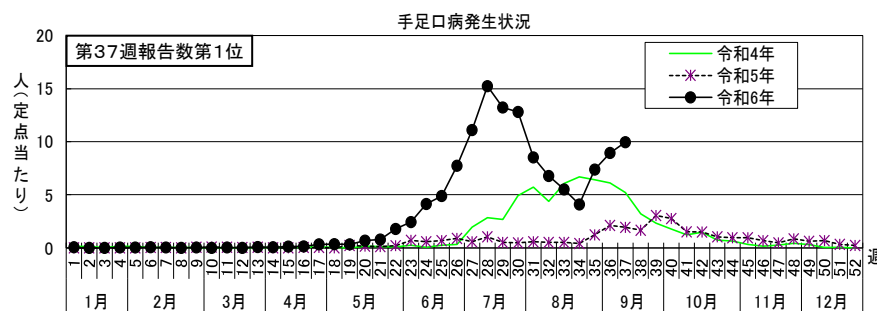


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年9月9日（月）～令和6年9月15日（日）〔令和6年第37週〕の感染症発生状況

第37週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）手足口病 2）新型コロナウイルス感染症 3）感染性胃腸炎でした。
手足口病の定点当たり患者報告数は9.95人と前週（8.95人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.90人と前週（6.30人）から減少しました。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.11人と前週（3.19人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



HPVワクチンのキャッチアップ接種を忘れずに！

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、感染すると皮膚に良性の腫瘍やいぼができたり、子宮頸がんの原因となることがあります。HPVワクチンは、子宮頸がんを予防するためのワクチンであり、我が国では小学校6年生相当から高校1年生相当の女子を対象に、定期予防接種を実施しています。

また、現在、定期接種期間内に接種を逃した平成9年度～平成19年度生まれの女子を対象にキャッチアップ接種が行われており、公費接種の期限は令和7年3月31日です。期間内に接種を完了するには、令和6年9月末までに1回目の接種を受けることが望ましいため、接種を希望される方は早めに接種をお願いします。

川崎市HPVワクチンキャッチアップ接種について

対象者：接種日時時点で川崎市に住民登録がある、平成9年度～平成19年度生まれの女子で、過去に子宮頸がん予防ワクチンを合計3回受けていない方

実施期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日

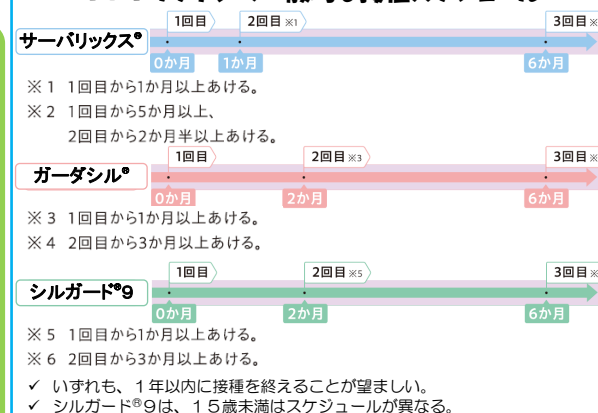
接種ワクチン：HPVワクチン

- サーバリックス（2価ワクチン）
- ガーダシル（4価ワクチン）
- シルガード9（9価ワクチン）

接種費用：無料

*詳細は川崎市ホームページ「ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症（子宮頸がんワクチン）の予防接種について」をご覧ください。

HPVワクチンの一般的な接種スケジュール



厚生労働省 ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～ より作成